

貯蓄の状況

1 概要

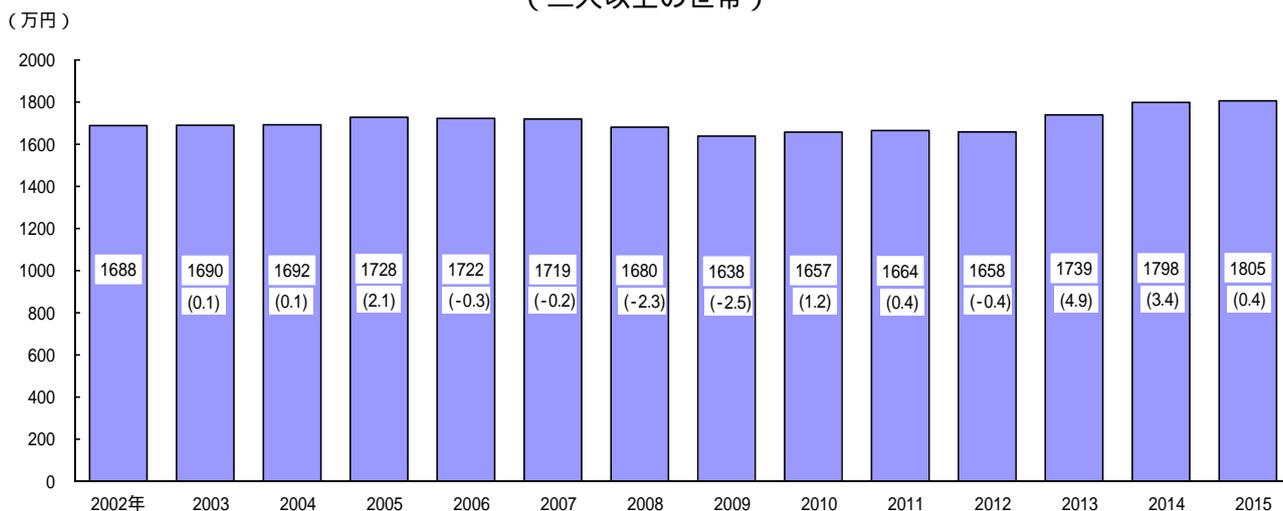
(1) 貯蓄現在高は1805万円と3年連続の増加

二人以上の世帯における2015年平均の1世帯当たり貯蓄現在高（平均値）は1805万円で、前年に比べ7万円、0.4%の増加となり、3年連続の増加となった。貯蓄保有世帯全体を二分する中央値は1054万円（前年1052万円）となった。また、年間収入は616万円で、前年に比べ2万円、0.3%の増加となり、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は293.0%で、前年に比べ0.2ポイントの上昇となった。

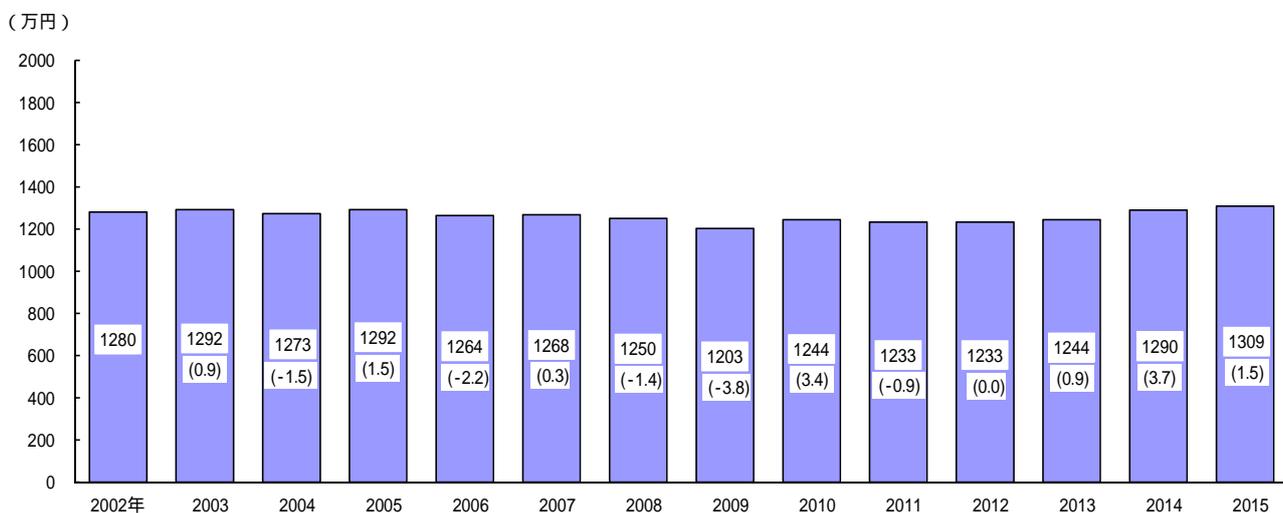
このうち勤労者世帯（二人以上の世帯に占める割合51.2%）についてみると、貯蓄現在高（平均値）は1309万円で、前年に比べ19万円、1.5%の増加となり、貯蓄保有世帯の中央値は761万円（前年741万円）となった。二人以上の世帯全体と比べると、平均値、貯蓄保有世帯の中央値共に低くなっている。また、年間収入は709万円で、前年に比べ7万円、1.0%の増加となり、貯蓄年収比は184.6%で、前年に比べ0.8ポイントの上昇となった。

（図1，表1）

図1 貯蓄現在高の推移
（二人以上の世帯）



（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



注) () 内は、対前年増減率 (%)

表1 貯蓄現在高の推移

年次	貯蓄現在高 (1) (万円)	年間収入 (2) (万円)	対前年増減率		貯蓄比 (1)/(2) (%)	貯蓄保有世帯の中央値 (万円)
			貯蓄現在高 (%)	年間収入 (%)		
二人以上の世帯						
2002年	1688	683	-	-	247.1	1022
2003	1690	660	0.1	-3.4	256.1	1027
2004	1692	650	0.1	-1.5	260.3	1024
2005	1728	645	2.1	-0.8	267.9	1052
2006	1722	645	-0.3	0.0	267.0	1008
2007	1719	649	-0.2	0.6	264.9	1018
2008	1680	637	-2.3	-1.8	263.7	995
2009	1638	630	-2.5	-1.1	260.0	988
2010	1657	616	1.2	-2.2	269.0	995
2011	1664	612	0.4	-0.6	271.9	991
2012	1658	606	-0.4	-1.0	273.6	1001
2013	1739	616	4.9	1.7	282.3	1023
2014	1798	614	3.4	-0.3	292.8	1052
2015	1805	616	0.4	0.3	293.0	1054 (997)
二人以上の世帯のうち勤労者世帯						
2002年	1280	748	-	-	171.1	817
2003	1292	721	0.9	-3.6	179.2	808
2004	1273	730	-1.5	1.2	174.4	805
2005	1292	719	1.5	-1.5	179.7	807
2006	1264	713	-2.2	-0.8	177.3	772
2007	1268	718	0.3	0.7	176.6	783
2008	1250	717	-1.4	-0.1	174.3	757
2009	1203	709	-3.8	-1.1	169.7	754
2010	1244	697	3.4	-1.7	178.5	743
2011	1233	689	-0.9	-1.1	179.0	729
2012	1233	691	0.0	0.3	178.4	757
2013	1244	708	0.9	2.5	175.7	735
2014	1290	702	3.7	-0.8	183.8	741
2015	1309	709	1.5	1.0	184.6	761 (711)

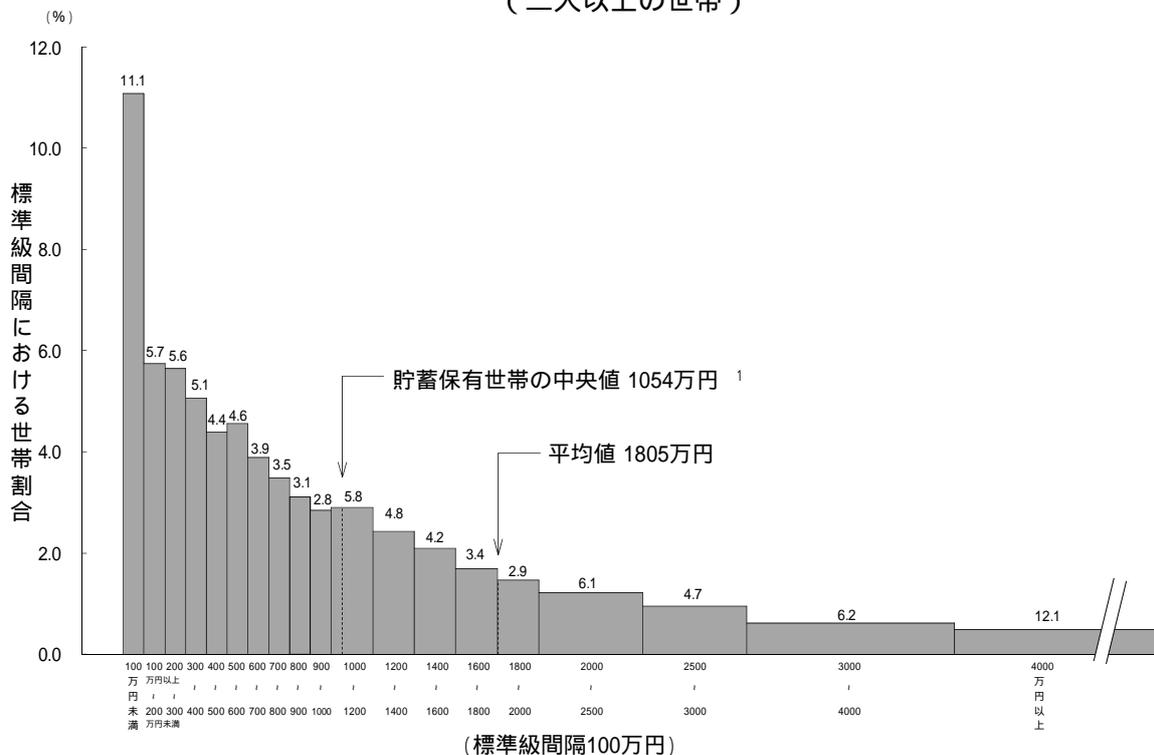
貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄現在高が「0」の世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。()内は、2015年の貯蓄現在高が「0」の世帯(貯蓄「0」世帯という。)を含めた中央値(参考値)

(2) 貯蓄現在高が平均値（1805万円）を下回る世帯が約3分の2を占める

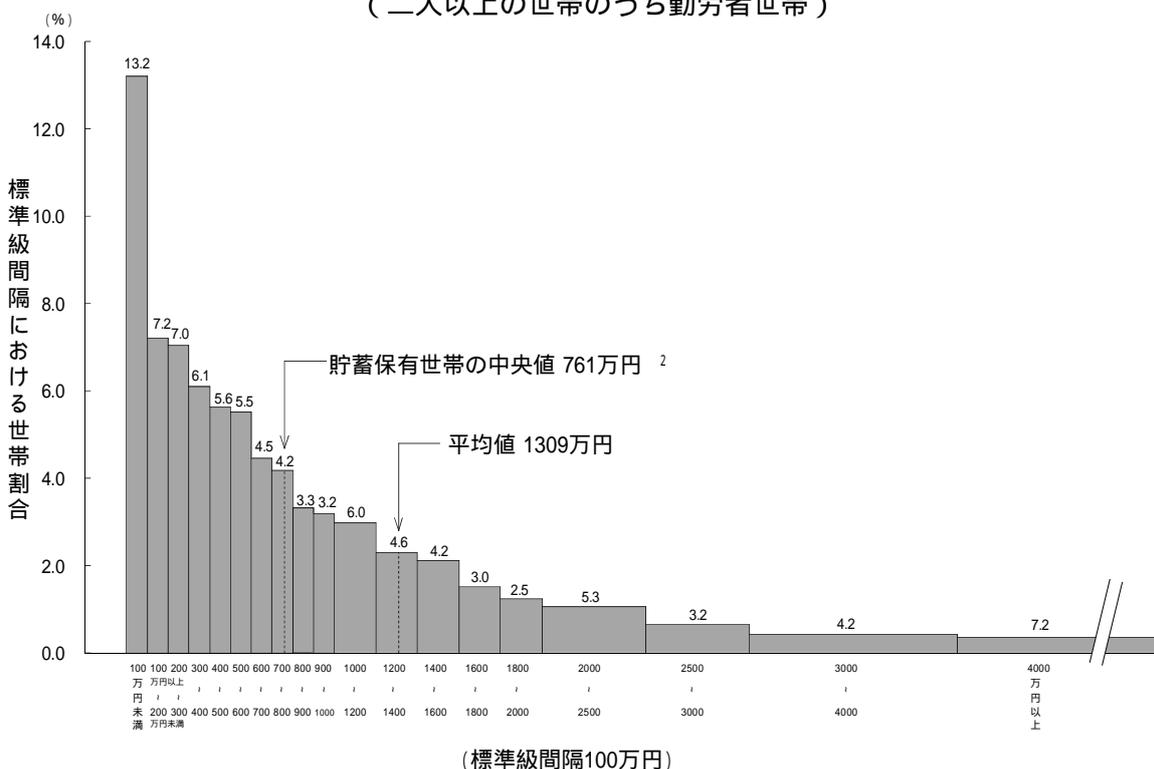
二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、平均値（1805万円）を下回る世帯が68.0%（前年67.6%）と約3分の2を占めており、貯蓄現在高の低い階級に偏った分布となっている。

(図2)

図2 貯蓄現在高階級別世帯分布 - 2015年 -
(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



注) 標準級間隔100万円（1000万円未満）の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、1000万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いため、縦軸目盛りとは一致しない。

1 貯蓄「0」世帯を含めた中央値 997万円

2 貯蓄「0」世帯を含めた中央値 711万円

2 貯蓄の種類別内訳

(1) 有価証券は3年連続の増加

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が734万円（貯蓄現在高に占める割合40.7%）と最も多く、次いで通貨性預貯金が394万円（同21.8%）、「生命保険など」が374万円（同20.7%）、有価証券が264万円（同14.6%）、金融機関外が39万円（同2.2%）となっている。

このうち勤労者世帯についてみると、定期性預貯金が470万円（同35.9%）と最も多く、次いで通貨性預貯金が324万円（同24.8%）、「生命保険など」が310万円（同23.7%）、有価証券が146万円（同11.2%）、金融機関外が59万円（同4.5%）となっている。

2014年と比べると、二人以上の世帯について、有価証券、通貨性預貯金及び「生命保険など」は増加となっている。有価証券は、前年に比べ13万円、5.2%の増加となり、3年連続の増加となっている。一方で、定期性預貯金は、前年に比べ24万円、3.2%の減少となり、7年ぶりの減少となっている。

このうち勤労者世帯についてみると、有価証券、通貨性預貯金及び定期性預貯金は増加となっている。特に通貨性預貯金は、直接比較可能な2002年以降13年連続の増加となっている。有価証券は、前年に比べ10万円、7.4%の増加となり、3年連続の増加となっている。「生命保険など」は減少となっている。

（表2，図3）

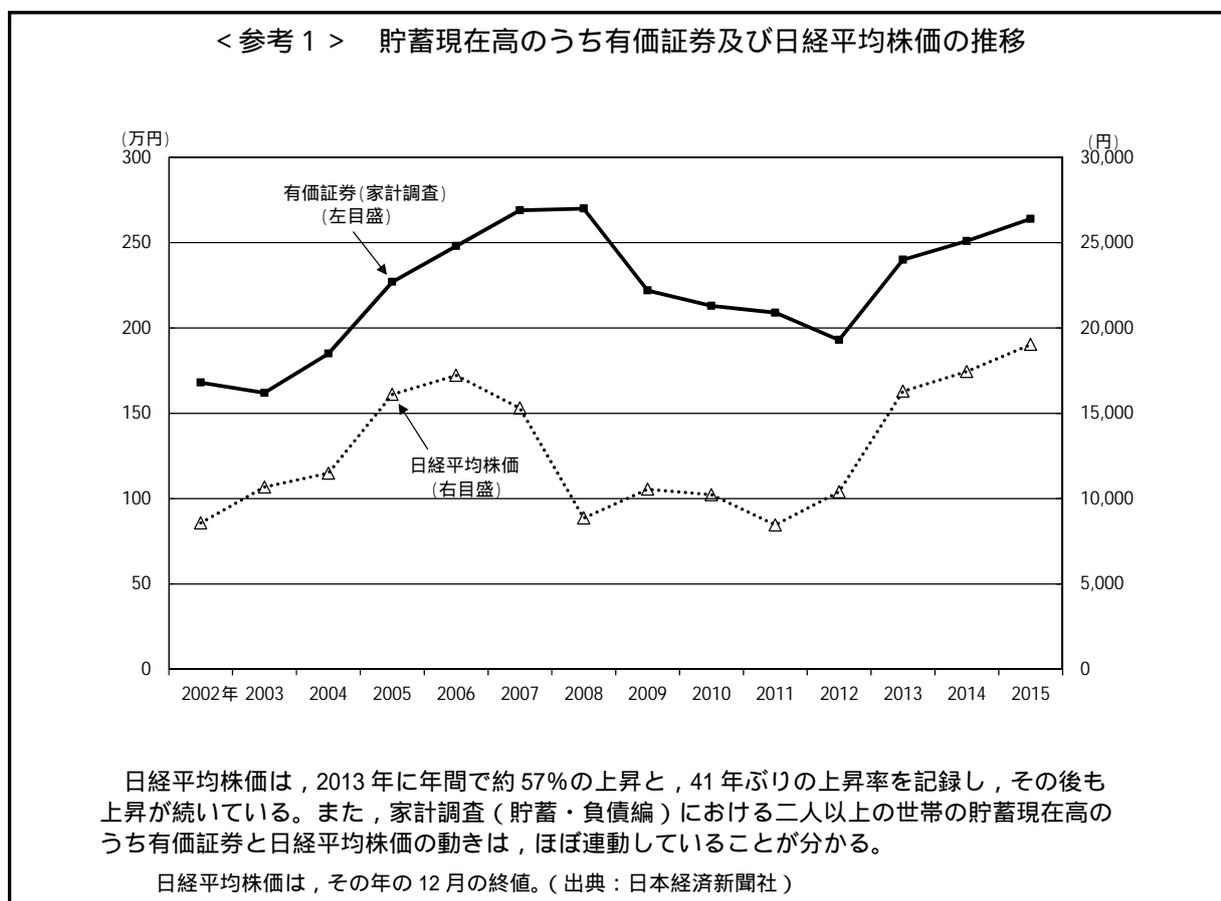


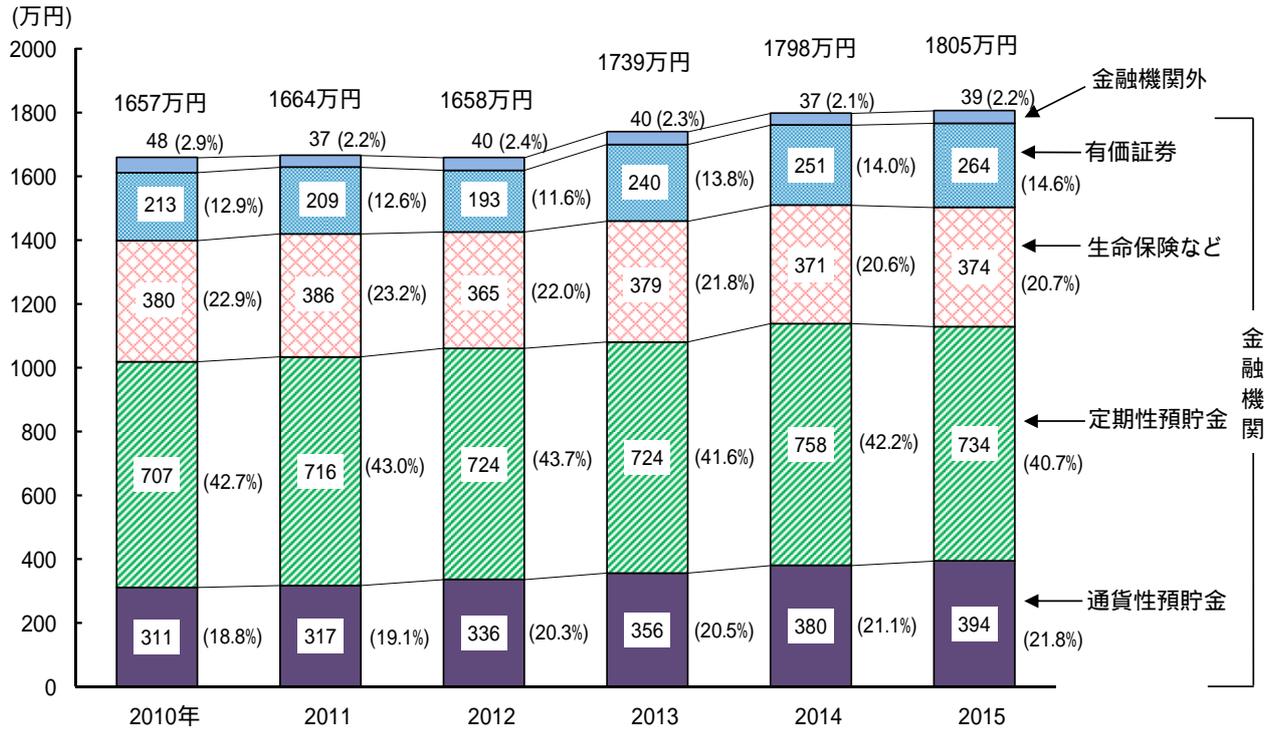
表2 貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移

年次	二人以上の世帯														
	貯蓄現在高	金融機関				定期性預貯金			生命保険など	有価証券	株式・株投資信託			債券・公社債投資信託	金融機関外
		金融機関	通貨性預貯金	普通銀行等	郵便貯金行	定期性預貯金	普通銀行等	郵便貯金行			株式・株投資信託	貸付信託・金銭信託			
	金額 (万円)														
2010年	1657	1610	311	237	73	707	485	222	380	213	134	11	68	48	
2011	1664	1627	317	244	73	716	498	218	386	209	134	12	63	37	
2012	1658	1618	336	259	77	724	504	221	365	193	126	10	57	40	
2013	1739	1699	356	280	76	724	515	210	379	240	161	12	67	40	
2014	1798	1761	380	301	79	758	540	218	371	251	175	12	64	37	
2015	1805	1765	394	312	82	734	518	215	374	264	192	13	59	39	
	構成比 (%)														
2010年	100.0	97.2	18.8	14.3	4.4	42.7	29.3	13.4	22.9	12.9	8.1	0.7	4.1	2.9	
2011	100.0	97.8	19.1	14.7	4.4	43.0	29.9	13.1	23.2	12.6	8.1	0.7	3.8	2.2	
2012	100.0	97.6	20.3	15.6	4.6	43.7	30.4	13.3	22.0	11.6	7.6	0.6	3.4	2.4	
2013	100.0	97.7	20.5	16.1	4.4	41.6	29.6	12.1	21.8	13.8	9.3	0.7	3.9	2.3	
2014	100.0	97.9	21.1	16.7	4.4	42.2	30.0	12.1	20.6	14.0	9.7	0.7	3.6	2.1	
2015	100.0	97.8	21.8	17.3	4.5	40.7	28.7	11.9	20.7	14.6	10.6	0.7	3.3	2.2	
	対前年増減率 (%)														
2010年	1.2	0.8	5.1	6.8	-1.4	0.9	1.7	-0.9	0.8	-4.1	-3.6	-15.4	-2.9	17.1	
2011	0.4	1.1	1.9	3.0	0.0	1.3	2.7	-1.8	1.6	-1.9	0.0	9.1	-7.4	-22.9	
2012	-0.4	-0.6	6.0	6.1	5.5	1.1	1.2	1.4	-5.4	-7.7	-6.0	-16.7	-9.5	8.1	
2013	4.9	5.0	6.0	8.1	-1.3	0.0	2.2	-5.0	3.8	24.4	27.8	20.0	17.5	0.0	
2014	3.4	3.6	6.7	7.5	3.9	4.7	4.9	3.8	-2.1	4.6	8.7	0.0	-4.5	-7.5	
2015	0.4	0.2	3.7	3.7	3.8	-3.2	-4.1	-1.4	0.8	5.2	9.7	8.3	-7.8	5.4	

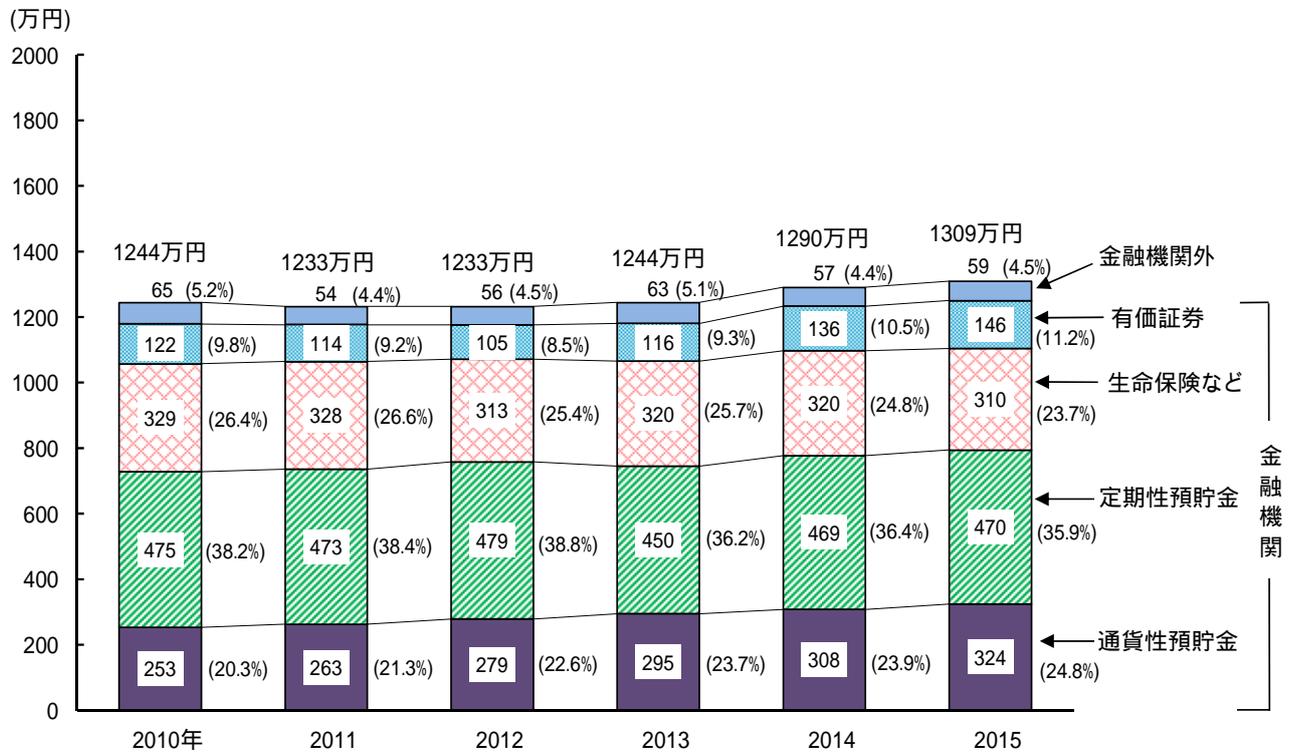
年次	二人以上の世帯のうち勤労者世帯														
	貯蓄現在高	金融機関				定期性預貯金			生命保険など	有価証券	株式・株投資信託			債券・公社債投資信託	金融機関外
		金融機関	通貨性預貯金	普通銀行等	郵便貯金行	定期性預貯金	普通銀行等	郵便貯金行			株式・株投資信託	貸付信託・金銭信託			
	金額 (万円)														
2010年	1244	1179	253	199	54	475	317	157	329	122	76	6	39	65	
2011	1233	1179	263	204	59	473	322	151	328	114	77	7	30	54	
2012	1233	1177	279	216	63	479	329	150	313	105	67	5	33	56	
2013	1244	1181	295	231	64	450	309	141	320	116	80	6	29	63	
2014	1290	1233	308	245	64	469	323	146	320	136	101	6	29	57	
2015	1309	1250	324	257	68	470	324	146	310	146	113	7	26	59	
	構成比 (%)														
2010年	100.0	94.8	20.3	16.0	4.3	38.2	25.5	12.6	26.4	9.8	6.1	0.5	3.1	5.2	
2011	100.0	95.6	21.3	16.5	4.8	38.4	26.1	12.2	26.6	9.2	6.2	0.6	2.4	4.4	
2012	100.0	95.5	22.6	17.5	5.1	38.8	26.7	12.2	25.4	8.5	5.4	0.4	2.7	4.5	
2013	100.0	94.9	23.7	18.6	5.1	36.2	24.8	11.3	25.7	9.3	6.4	0.5	2.3	5.1	
2014	100.0	95.6	23.9	19.0	5.0	36.4	25.0	11.3	24.8	10.5	7.8	0.5	2.2	4.4	
2015	100.0	95.5	24.8	19.6	5.2	35.9	24.8	11.2	23.7	11.2	8.6	0.5	2.0	4.5	
	対前年増減率 (%)														
2010年	3.4	3.0	5.4	9.3	-5.3	3.3	5.3	-0.6	2.2	-1.6	1.3	-45.5	2.6	12.1	
2011	-0.9	0.0	4.0	2.5	9.3	-0.4	1.6	-3.8	-0.3	-6.6	1.3	16.7	-23.1	-16.9	
2012	0.0	-0.2	6.1	5.9	6.8	1.3	2.2	-0.7	-4.6	-7.9	-13.0	-28.6	10.0	3.7	
2013	0.9	0.3	5.7	6.9	1.6	-6.1	-6.1	-6.0	2.2	10.5	19.4	20.0	-12.1	12.5	
2014	3.7	4.4	4.4	6.1	0.0	4.2	4.5	3.5	0.0	17.2	26.3	0.0	0.0	-9.5	
2015	1.5	1.4	5.2	4.9	6.3	0.2	0.3	0.0	-3.1	7.4	11.9	16.7	-10.3	3.5	

図3 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移

(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



注) ()内は、貯蓄現在高に占める割合

(2) 貯蓄現在高が3000万円以上の世帯の有価証券の割合は2割

二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別に貯蓄の種類別割合をみると、貯蓄現在高が少ない世帯では、通貨性預貯金の割合が高くなっている。一方、貯蓄現在高が多い世帯では、定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなっている。貯蓄現在高が3000万円以上の世帯についてみると、有価証券の割合は2割となっている。

(表3, 図4)

表3 貯蓄現在高階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高（二人以上の世帯） - 2015年 -

項目	平均	200万円	200	400	600	800	1000	1200	1600	2000	3000
		未 満	万円以上 ~ 400 万円未満	~ 600	~ 800	~ 1000	~ 1200	~ 1600	~ 2000	~ 3000	万 円 以 上
金 額 (万円)											
貯蓄現在高	1805	66	288	491	688	890	1082	1382	1783	2446	5746
金融機関	1765	65	278	476	669	862	1050	1343	1737	2396	5639
通貨性預貯金	394	35	116	167	215	254	296	326	402	537	1089
定期性預貯金	734	15	88	173	260	328	401	564	755	1080	2344
生命保険など	374	13	66	119	163	238	286	363	443	532	1055
有価証券	264	1	7	18	29	40	68	89	137	246	1150
金融機関外	39	2	10	15	18	28	31	39	46	50	107
(参考)年間収入	616	474	557	593	594	614	633	624	637	651	764
構 成 比 (%)											
貯蓄現在高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金融機関	97.8	98.5	96.5	96.9	97.2	96.9	97.0	97.2	97.4	98.0	98.1
通貨性預貯金	21.8	53.0	40.3	34.0	31.3	28.5	27.4	23.6	22.5	22.0	19.0
定期性預貯金	40.7	22.7	30.6	35.2	37.8	36.9	37.1	40.8	42.3	44.2	40.8
生命保険など	20.7	19.7	22.9	24.2	23.7	26.7	26.4	26.3	24.8	21.7	18.4
有価証券	14.6	1.5	2.4	3.7	4.2	4.5	6.3	6.4	7.7	10.1	20.0
金融機関外	2.2	3.0	3.5	3.1	2.6	3.1	2.9	2.8	2.6	2.0	1.9
構成比の対前年変化幅(ポイント)											
貯蓄現在高											
金融機関	-0.1	1.4	-0.4	-0.1	0.3	-0.1	0.4	0.3	0.8	0.2	-0.4
通貨性預貯金	0.7	1.6	1.1	-1.5	2.0	-1.8	0.9	-1.9	-0.2	1.3	1.2
定期性預貯金	-1.5	-3.0	0.5	0.3	0.8	-0.7	-0.7	-0.3	1.6	-1.0	-2.5
生命保険など	0.1	1.1	-1.6	0.7	-2.8	2.6	-0.6	1.8	0.0	-0.4	0.1
有価証券	0.6	0.1	-0.7	0.7	0.3	-0.7	0.8	0.6	-0.6	0.3	0.9
金融機関外	0.1	0.1	0.4	0.1	-0.5	0.2	-0.4	-0.2	-0.9	-0.2	0.4

図4 貯蓄現在高階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比（二人以上の世帯） - 2015年 -

